

○峴 ……南方荊州の襄陽にある峴山のこと。「羊祜」の故事を踏まえる語。↓補説①

196 ○其如…『漢辭海』には「仮定を表す接続詞として条件節に置く。「それ」と訓読するが「もし」と訓読してもよい。「もしも…(ならば)」「かりに…(ならば)」などと訳す」と説明し、『孟子』「梁惠王上」の「其如是、孰能禦之」の用例を引く。また『論語』「述而」に「子曰、天生德於予、桓魋其如予何」の例がある。

『漢語大詞典』には「怎奈、无奈」と説明し、劉長卿の「峽石遇雨宴前主簿從兄子英宅詩」に「雖欲少留此、其如婦限催」の句を引く。

○燕 ……河北省の古名。今の天津地方で海にも近い。

197 ○糾纏…①より合わせた縄。あざなえる縄。

②縄のようにまつわり続く。「糾」は「三すじよりの縄」。「三本の糸で撚った縄。一説に二本撚りの縄」。『漢語大詞典』には、「糾纏」の項に「亦作糾墨。繩索」と説明し、さらに「交互纏繞」との説明を補足する。『文選』賈誼の「鵬鳥賦」のつぎの句を踏まえた語である。

「夫禍之與福兮、何異糾纏。李善注、『字林』曰、糾、兩合繩、纏、三合繩。應劭曰、禍福相與為表裏、如糾纏索相附會也」。

また『鵬冠子』「世兵」の中にも次の用例を見出せる。

「禍乎福之所倚、福乎禍之所伏、禍與福如糾纏（注）此言、禍福相為表裏、執如索綯纏索也」。

○分 ……さだめ、運命、境遇

198 ○命 ……運命。さだめ